

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年7月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年7月9日～27日
- 調査対象 200社
- 回答企業 114社
- 回収率 57.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の7月の状況を見ると業況DIは、前月より4.6ポイント改善の▲19.3となった。

2017年9月以来11ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲18.4、当月に比べ0.9ポイントの改善を見込んでいる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 2018年8月～ 10月
業況	▲20.0	▲15.2	▲24.1	▲21.9	▲23.9	▲19.3	▲18.4
売上	▲2.8	4.7	▲18.7	▲14.9	▲18.2	▲7.9	▲11.5
採算	▲20.0	▲12.4	▲22.4	▲21.9	▲21.8	▲17.5	▲16.7
仕入単価	▲41.8	▲41.9	▲33.0	▲39.4	▲36.4	▲39.8	▲37.1
従業員	22.7	29.5	32.1	31.9	32.7	25.4	34.2
資金繰り	▲10.9	▲11.4	▲8.0	▲6.2	▲4.5	▲4.4	▲7.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 2018年8月～ 10月
建設	▲22.2	▲11.1	▲19.3	▲16.0	▲18.5	▲25.9	▲18.5
製造	▲21.8	▲16.0	▲29.2	▲27.6	▲37.5	▲28.0	▲28.0
卸売	▲20.0	▲22.7	▲23.8	▲28.6	▲30.0	▲8.3	▲8.4
小売	▲31.3	▲13.3	▲23.5	▲29.4	▲33.3	▲25.0	▲25.0
サービス	▲5.3	▲12.5	▲25.0	▲9.1	0.0	▲9.1	▲13.7

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・工事受注量の減少。下請業者不足による施工単価が上昇。工事施工時期の集中により、職員が一時的に不足するが、繁忙期を過ぎると過多となる。燃料の高騰により、資機材のすべてにおいて価格上昇傾向となっている。（総合工事） ・冬通しの工事完了。7月～9月始め頃まで次の工事開始まで多少時間がある。9月中旬頃より人手不足？（建築） ・技術職員不足の為に新規受注を抑制している。（設備その他） ・専門工事業界に属しているが、工事が極めて少ないので、それぞれ行く先に不安を感じている。当社は旧態依然とした業界から脱しつつある。好結果も出てきている。（設備その他）
製造業	・今のところ問題点はありません。（印刷・出版） ・紙媒体の印刷物のマーケット縮小傾向は変わらず、マイナス分を補填できない状況が続いている。WEBサイト等の分野のニーズがあるが、紙媒体の減少をカバーできていない。（印刷・出版） ・働き方改革に向け、社内でも残業時間の削減に向け動いている。経営者がこだわらなければ、改革は出来ないと強い信念が必要。過去の経験値や当たり前としている事を見直すのはみなに大きなストレスがかかるが諦めず、社員満足の前に顧客満足が成り立つと信じて進んでいる。（金属窯業他） ・仕入原材料の価格上昇が続き材料支給の仕事にシフト中。自社製品のウエイトが下がりつつある。（金属窯業他） ・西日本の雨による特需が期待されている。商圏は旭川だけと思っている企業でも外需チャンスはある。意識改革は掛け声でも効果はある。消費税増税はやめるべきと考える。内需が冷えデフレが戻ってしまう。（金属窯業他） ・災害の影響大（仕入コストの上昇）（食料品）
卸売業	・前年度よりもやや業況は良い。（機械鋼材） ・石油製品全般に仕入・販売価格が昨年に比べ高値水準となっており、当面の間続くものと思われます。（その他）
小売業	・雨の影響で観光などの行楽需要減少、洗車売上も減少（その他） ・原材料価格の上昇（食料品） ・従業員不足が続いている。（その他） ・7月10日サマーセールがスタートしました。昨年より来店客が少なくなりバーゲンセールのインパクトが全く無いようです。アウトレットSHOPが道内に出張し1年中セールプライスで商品が購入出来、又インターネットも同様でSHOPに足を運ばなくてもインポートブランドからドメスティックブランドまで全て購入する事が出来る事が一番の要因なのかもしれません、（衣服見回品）
サービス業	・旭川市内のホテル（駅前を中心）大型ホテルは8月20日まで満室状態。富良野、美瑛、又、札幌、ニセコ、トマムと昨年の1.2倍の忙しさ。観光客が押し寄せてきています。従業員はベトナム、タイ、台湾、中国より、約30名増員し大忙しを乗り越えています。今後ベトナムに出張所を開設して人員の配置をしていきたい。（理美容クリーニング） ・原油価格（運送） ・災害により野菜などの価格が上がるのでは？（飲食） ・7月の大雨被害の復旧作業に追われている。（その他・ソフトウェア） ・人手不足（ホテル・旅館） ・技術者の人員不足（整備）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI11.1 ポイント悪化、採算 DI7.4 ポイント悪化、仕入単価 DI7.4 ポイント改善、資金 DI11.1 ポイント悪化、従業員 DI3.7 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 7.4 ポイント悪化となった。業種別では、設備・その他横ばい、総合工事 8 ポイント、建築 25 ポイント悪化となった。技術職員不足の為に新規受注を抑制しているとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI32.0 ポイント改善、採算 DI20.0 ポイント改善、仕入単価 DI14.5 ポイント悪化、資金 DI4.0 ポイント改善、従業員 DI7.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 9.5 ポイント改善となった。業種別では、食料品 40 ポイント悪化、印刷・出版 17 ポイント、家具・木材 20 ポイント、金属窯業他 28 ポイント改善となった。仕入原材料の価格上昇が続き材料支給の仕事にシフト中。自社製品のウエイトが下がりつつあるとの声も寄せられている。
卸売業	売上 DI36.6 ポイント改善、採算 DI16.7 ポイント改善、仕入単価 DI3.3 ポイント悪化、資金 DI1.7 ポイント改善、従業員 DI3.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 21.7 ポイント改善となった。業種別では、機械鋼材 3 ポイント悪化、繊維・衣服等横ばい、食料品 30 ポイント、その他 48 ポイント改善となった。石油製品全般に仕入・販売価格が昨年に比べ高値水準となっており、当面の間続くものと思われますとの声も寄せられている。
小売業	売上 DI13.9 ポイント悪化、採算 DI9.0 ポイント悪化、仕入単価 DI11.1 ポイント改善、資金 DI10.3 ポイント改善、従業員 DI は 9.8 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 8.3 ポイント改善となった。業種別では、衣料品 8 ポイント、食料品 33 ポイント悪化、その他 5 ポイント、自動車 33 ポイント改善となった。従業員不足が続いているとの声も寄せられている。
サービス業	売上 DI0.9 ポイント悪化、採算 DI4.1 ポイント悪化、仕入単価 DI14.5 ポイント悪化、資金 DI0.4 ポイント改善、従業員 DI14.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 9.1 ポイント悪化となった。業種別では、理美容・クリーニング 50 ポイント改善、その他、飲食、整備業横ばい、ホテル・旅館 20 ポイント、運送 33 ポイント悪化となった。災害により野菜などの価格が上がるのでは？との声も寄せられている。